

富山経協



ミズバショウの花 (解説・18ページ)

CONTENTS

- 2 理事会、幹事会 (報告)
- 3 2016年度 事業方針
- 4 2016年度 年間事業活動計画表
- 6 TOP INTERVIEW
JFEマテリアル 鷺尾 勝 社長
- 8 2016年4月新卒者等の採用に関する調査結果
- 10 長野経協との合同協議会、連合との懇談会
- 12 委員会活動
- 13 講座・セミナー
- 13 参加者NOTES
- 17 新会員の紹介
- 18 会員の動き
- 19 景況指標
- 20 おしらせ・事業予定

理事会

3月4日(金)17時から「理事会」を、稲垣会長はじめ副会長6名、専務理事、監事1名が出席して富山電気ビル4階7号室で開催した。

(1) 2016年度事業方針承認の件、(2) 2016年度暫定予算承認の件、(3) 新会員7社の承認の件について審議し、承認された。

幹事会

3月4日(金)16時から「幹事会」を、60名が出席して富山電気ビル5階中ホールで開催した。

稲垣会長の挨拶の後、下記の報告を行った。

(1) 2015年度事業報告

定時総会は、5月25日に開催し、2014年度事業・財務諸表、県に提出する公益目的支出計画実施報告書、2015年度事業計画・損益予算、理事および監事選出につき審議し承認された。

臨時総会は9月4日に開催し、理事選任を審議し承認された。理事会は3回と書面理事会を2回開催した。

会員懇談会は、7月に西部地区、9月に富山地区、11月に東部地区と3回開催した。経済5団体による新春互礼会は1月4日に開催した。

広報調査活動は、機関誌は新春号を加え7回発行した。定期調査は8回、経営課題調査は2回実施した。

委員会活動について、武内総務交流委員会委員長、笠井人事・労務政策委員会委員長、松原教育委員会副委員長、福村品質管理委員会委員長、矢野環境委員会委員長、守山経営企画・IT委員会委員長より報告があった。

(2) 2015年度正味財産増減見込み報告

受け取り会費は会員増により、約49.2百万円、事業収益はオーダーメイド研修の増により約59.4百万円、雑収益は約0.6百万円となり、経常収益は約109.3百万円を見込んでいる。これは、予算に対して約2.5百万円の増となる。一方、経常費用は107.9百万円で、予算に対して約1.4百万円の増となる。この結果、評価損益等調整前当期経常増減額は、予算に対して約1.1



百万円の収支改善を見込んでいる。

(3) 2016年度暫定予算案報告

受け取り会費は約49.7百万円、事業収益は約50百万円、雑収益は約0.6百万円とし、約100百万円の予算とした。一方、経常費用は職員の若返りを図るため1名採用し、約107百万円とした。この結果評価損益等調整前当期経常増減額はマイナス6百万円となる。以上3議案について報告された。

教育委員会

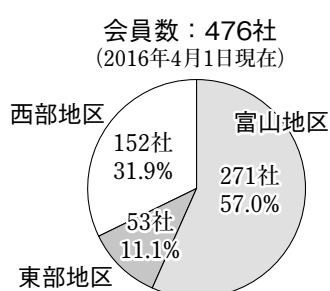
研究部会報告

2カ年にわたり「新入社員・若手社員の育成」～自ら考える社員を育てる～をテーマに活動を行ってきた成果を、小冊子にまとめた。

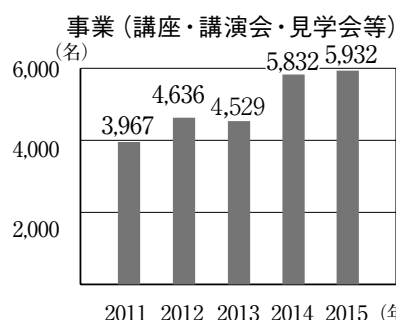
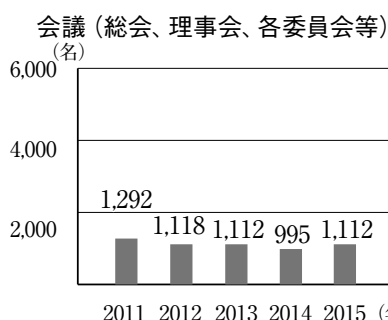


日産化学工業(株)富山工場総務部長の鶴田副部長、コーセル(株)人事開発課課長の日下副部長、武内プレス工業(株)管理部の太田副部長の3氏が、新入社員・若手社員のイメージと求める能力、委員企業への調査結果、社会人基礎力による各社の取り組み分類、5企業への訪問調査について報告した。

富山県経営者協会の現況



参加人数推移



2016年度 事業方針 <基本方針>

日本経済は円高・株安等により一部の業種に弱さは見られるものの、緩やかな回復基調が続いているが、国内消費が力強さを欠くなか、中国をはじめとするアジア新興国や資源国の景気の下振れなど、先行きは決して予断を許さない状況にある。また急激に進行する「少子高齢化と人口減少」は、日本経済を縮小均衡に陥らせ、働き手の減少が続けば、産業自体の衰退につながりかねない。

デフレからの脱却と持続的な経済成長を確実なものにするため、経済の好循環の実現と成長機会を創出する取り組みを継続していくことが喫緊の重要課題であり、人口減少対策には現状をしっかりと認識し、政府と企業、そして国民一人ひとりが一丸となって取り組んでいかなければならない。

このことを確実にするため、政府として、国民生活のセーフティネットである社会保障制度の継続を確保するとともに、地域経済の発展・活性化、少子化対策、財政健全化に果敢に取り組む、国民が安心して暮らせる社会を構築することが重要な使命である。

一方、経営者はリーダーシップを発揮して明確なビジョンのもと、企業業績の改善を進めることにより、設備投資や雇用の拡大、処遇改善につなげていかなければならない。そうした日々の努力に裏付けられた企業の存続・発展が社会に付加価値として還元され、地域の安定につながる。

一般社団法人富山県経営者協会は、富山県という地域社会と、経済界を担う経営者という観点に立ち、地域の業種や規模を問わない経営者の集う「経済団体」としてのあるべき姿を常に見直し、行動し、結果を出すことにより、その役割を果たしていく。

具体的には、多様化する会員ニーズに対応した経営課題の研究、企業活動の源である社員への研修等の教育提供、労使関係の充実を目指した人事制度などの提案、会員同士の情報交換と人脈づくりの場の提供などにより、会員企業の更なる繁栄につなげていく。また、地域社会における民間の経済団体の代表格である位置づけの責任を果たすため、行政の雇用安定や地域振興の取り組みへの支援を行い、他経済団体との連携を深めて、地域社会の発展に努める。

以上の実現を目指し2016年度の事業活動を以下の通り行う。

1. 労使一体となった企業活動が企業の存続と雇用につながる。先の見えない企業環境下での他社の取り組み・仕掛け、行政の人材採用・育成、女性の活躍、海外展開等の支援制度についての情報提供活動を進めていく。
2. 企業の繁栄の源泉は「現場力」であり、それを支える「人材力」である。企業の実情に適合し、そこで働く人がより働きがいを感じ、自ら能力を向上し、労働生産性を高め、定着する企業風土の構築につながる活動を強化する。
3. 連携強化により活動の幅を広げる。行政並びに他の経済団体との連携を通して、当協会の各種事業の強化と充実を図っていくとともに、協会の枠を超えた人脈作りにつなげていく。
4. 公益性を高める活動を強化する。研究成果やアンケート結果などをマスコミやホームページで情報提供し地域社会の発展につなげる。そのために会員増強と会員相互協力の場である各委員会活動への責任者の参画を促進する。

2016年度 富山県 経営者協会

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
会 議		理 事 会 (21日)	定 時 総 会 (23日) 理 事 会 (23日)		会長・副会長会議 (1日) 北陸三県・長野県役 員懇談会(15日~16日)		理 事 会 (9日)	
事 業			講演会、座談会 (23日)		西部地区会員懇談会 (1日)		富山地区会員懇談会 (9日)	
調 査		新入社員意識調査	初 任 給 調 査	夏季賞与調査 経営課題調査				
広 報		富山経協4月号		富山経協6月号 講演録「不易流行」		富山経協8月号		
委 員 会	総務交流	会議 活動		定 例 委 員 会		定 例 委 員 会	富山経協ゴルフコンペ	
	人事・労務	会議	幹 事 会	定 例 委 員 会		定 例 委 員 会		
		活動			労働法関連法制 研究部会		労働法関連法制 研究部会	
	教 育	会議		定 例 委 員 会			定 例 委 員 会	
		活動			研 究 部 会 教育制度見学会	研 究 部 会	研 究 部 会	
	品質管理	会議	幹 事 会			定 例 委 員 会		定 例 委 員 会
		活動				委員企業見学会		
	環 境	会議		定 例 委 員 会			定 例 委 員 会	
		活動		県との情報交換	県外企業見学研修会	環境保全活動	情報交換会(セミナー)	
	経営企画	会議	定 例 委 員 会				定 例 委 員 会	
活動			改善活動見学会					
講 座 ・ セ ミ ナ ー	階 層 別	会員企業新入社員 合同研修 (4日)		中堅社員活性化 コース (21日・22日)	監督者(係長・主任 班長)基礎コース (12日・13日) 部課長実践講座 (21日~23日)<2泊3日>		管理職マネジメント研修 (9月12日~2017年5月) <12日間>	
	共 通		ビジネス・マナー 習得セミナー (17日)	仕事の基本「報連相」 セミナー (14日) ISO9001:2015年版 改定まるわかり講座 (8日)		なぜなぜ分析活用 セミナー (2日)	ヒューマンエラー 対策講座【実践編】 (6日・7日) ISO14001内部監査員 養成講座 (8日・9日) ISO9001:2015年版 改定まるわかり講座 (15日) 改善力養成セミナー 【基礎編】 (27日)	
	労 務 管 理	人事・労務管理セミナー 第1回 (13日)		労働法実務講座 第1回 (15日)			労働法実務講座 第2回 (14日)	
	品 質 管 理	品質管理入門講座【基礎編】 (4月14日~5月19日)<4日間>						
			実践しながら学ぶ 統計的手法活用講座 (5月26日~11月24日) <14日間>					
	生 産 管 理			IE手法による生産 現場の改善セミナー (7日)		ものづくりと現場改善実践 セミナー (23日~24日) <1泊2日>		
	購 買 管 理							
	営 業	営業力基礎セミナー (19日・20日)						
経 理						経理基礎・管理会計 基礎講座 (26日)		

年間事業活動計画表

10月	11月	12月	2017年1月	2月	3月		
	会長・副会長会議 (11日)				理事会・幹事会	会議	
	東部地区会員懇談会 (11日)		経済団体新春互礼会 (4日)		連合富山との懇談会	事業	
冬季賞与調査 経営課題調査	新春アンケート			新卒者採用調査 春季賃金改定状況調査	2016年度調査報告書	調査	
富山経協10月号		富山経協12月号	富山経協新春号	富山経協2月号		広報	
定例委員会		定例委員会				会議	委員 員 会
	会員交流ボウリング大会					総務 交流 活動	
	幹事会	定例委員会		定例委員会		会議	
	労働法関連法制 研究部会			労働法関連法制 研究部会		活動	
		定例委員会		定例委員会		会議	
研究部会 教育制度見学会		研究部会		研究部会		活動	
		定例委員会		定例委員会		会議	
県外企業見学研修会				委員企業見学会		活動	
定例委員会		定例委員会				会議	
環境保全活動 情報交換会(企業訪問)				県内企業見学会		活動	
定例委員会		定例委員会				会議	
	改善活動見学会					活動	
係長・主任実践コース 第1回 (4日・5日)	管理職基礎コース (10日・11日)			係長・主任実践コース 第2回 (14日・15日)		階 層 別	
若手社員活性化コース (13日)							
ヒューマンエラー 対策講座【応用編】 (7日)	コスト改善力実践 セミナー (2日)	「5S+目で見る管理 活動」実践セミナー (7日)	CS(顧客満足) 基礎セミナー (24日)		改善レベルアップ セミナー【応用編】 (9日)	共 通	
事務間接部門の効果 的な業務改善の進め 方セミナー (19日)	ISO9001 内部監査員養成講座 (8日・9日)						
人事・労務管理セミナー 第2回 (18日)	労働法実務講座 第3回 (16日)			労働法実務講座 第4回 (22日)		労 務 管 理	
労務管理実務講座(10月12日~11月17日) <5日間>				春季労使交渉セミナー			
			品質管理入門講座【応用編】 (1月19日~2月16日)<4日間>			品 質 管 理	
						生 産 管 理	
					購買管理実践 セミナー (7日)	購 買 管 理	
						営 業	
						経 理	

高度なニーズに素早く対応 クロム製造国内オンリー1

JFEマテリアル株式会社
代表取締役社長

鷲尾 勝氏



鉄鋼の中で、クロム系合金鉄（フェロクロム）を製造する国内唯一のメーカーです。

クロムは鉄に混ぜることで耐摩耗性や耐熱性、耐食性を高めることから、色々な鋼材に添加されています。大別すると、一般的な製鉄に用いる低炭素フェロクロムと、特殊金属を作るための高純度の金属クロムに分けられます。

以前は国内でクロムを作る会社

が複数あったのですが、不況時に撤退してしまいました。現在、一般鋼材向けはインド、カザフスタン、ロシアなどで作っていますが、高純度の特殊フェロクロムを作っているのは、世界で当社とドイツ企業の2社だけです。

どのような用途に使われていますか。

一般的なクロムを添加して性能を強化した鋼材でよく知られているのはステンレスです。もう一つ

の特殊金属としては、ジェット機やロケット、発電所のタービン等、長時間高温下にさらされるなど過酷な条件でも耐えられる素材で、例えばインコネルなどを作るための原料です。お客様の目的に応じたクロムを製造しています。

納入先はどちらへ？

特殊用途向けは世界で2社だけなので、各国で競争しています。

一般鋼材用クロムはJFEグループに限らず、国内の製鉄メーカー各社に納めています。

どのような要望がありますか。

廉価な輸入品が入ってくるので、お客様の声を聞くことが重要です。自動車向け鋼材ですと、例えば「新型車種のボディーを軽くしたい」という要望に、より薄くて強い、しかも均一性を保てる素材を、どれだけ早く提供できるかが勝負になってきます。日本のものづくりの要求は特に高度ですから、それに迅速に対応していくことがかぎです。

鉄鋼業界の動向について教えてください。

鉄は景気の波に合わせて好不調を繰り返していますが、バブル経済崩壊後、多くの製鉄所が停止し、2003年には川崎製鉄と日本鋼管が統合再編してJFEスチールができたのはご存知の通りです。

その後も好況、リーマンショックなどと繰り返すのですが、世界の粗鋼需要はずっと増加しています。しかし、中国が生産過多です。世界の粗鋼生産量が16億トンで、中国が8億トン、日本は1億トン。新興国のGDPが上がり、粗鋼需要は増加しているのですが、中国の供給過剰のため、鉄が余っている状態が続いています。

製鉄メーカーは、日本のものづくりメーカーと一緒に、日本連合

で取り組んでいかななくてはならないと思っています。

—世界と戦いシェア伸長図る— クロム製造のほかにも手がけてい らっしゃいます。

当社の売上高の70%弱がクロムで、一般鋼材向けが50%、特殊金属向けが20%です。このほか、製油所や発電所の廃棄物からバナジウム、モリブデン、ニッケルなどの有価金属を回収再生する事業も行っていて、約30%。プラスチックの部品製造も1.5%程度行っています。

今後の見通しはいかがですか。

製鉄業は設備投資による固定費が大きいため、これまでは規模のメリットを追いかけてきましたが、現在の中国企業とは勝負になりません。日本の製鉄メーカーが生き残っていくためには、国内の高い要求に応えられる素早さが必要だと感じています。

そのような状況の中、2017年までの中期計画で売上30%増を掲げています。鋼材向けクロムは輸入品が多く、現在の国内シェアは4割程度ですが、5割に伸ばしたいと思っています。また、高付加価値の特殊クロムも伸ばしていきます。インコネルなどの特殊合金用途は現在シェア3割程度ですが、これを5割までに伸ばしていく必要があると考えています。

略 歴

1958(昭和33)年2月生まれ。兵庫県出身。1982年大阪大学大学院工学研究科冶金工学修了後、川崎製鉄(株)入社。2004年JFEスチール(株)東日本製鉄所製鋼部長、西日本製鉄所企画部長、第1原料部長などを経て、2012年4月からJFEマテリアル(株)社長。2016年4月日本鑄造(株)常勤顧問、6月社長に就任予定。



—女性登用・中途採用で活性化—

JFEスチールから、2012年に社長に赴任され、この4年間に取
り組まれたことは？

赴任した時に、伸びしろがある会社だと感じ、最初に受注を増やすことから始めました。まず、製鉄所で働いていた経験を生かし、設備投資をして、工場の生産能力を増強しました。一方で、営業力も強化しました。親会社の原料部長をしていたので、製鉄各社の担当者顔見知りだったことも幸いしました。同時に、技術部門と営業部門のコミュニケーションを図るようにして、お互いの信頼関係を大切にしました。

円安の追い風もあって、輸入品から切り替えてもらったこともあり、赴任当時1万8,000トンだった生産量が、現在は2万3,000トンに増えています。良い循環になっていると思います。

3割近くもの増産です。

そのため忙しくなり、ただ頑張れと言うだけでは限度があるので、配置換えをして能力が発揮できるようにしたり、ここ2年間はホワイトカラーの中途採用を積極的に採用したりして、体制を強化しました。生産管理や技術部門で、新しい考え方でやる気のある人が入ってくると、現場が活性化してきたように思います。

女性の活躍についてお伺いします。

現在、女性社員は20名で、リーダー直前の方が複数名います。男女を分けること自体が間違いで、私が当社へ着任してから作業服も、人事考課も、処遇も一緒にしました。事務職の女性に責任ある仕事を任せ、活躍してもらっています。**座右の銘を教えてください。**

プロ野球の野村克也元監督の「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」。物事の結果には必ず原因があります。環境の善し悪しを言い訳にたくはありません。

経営者をやっていると、色々と受け入れたくないことも上がってきます。それを後から知るのではなく、常に自分で見て、聞いて、把握して、結果を予測しておく。原因を突き止め、指示を出さなければいけません。その原因も自分で作っていると肝に銘じています。間違いを正すときにも、どういう視点からやり直すのかを指示して、納得してもらっています。(2016年3月インタビュー)

会社概要

JFEマテリアル株式会社

創 業：1917(大正6)年電気製鉄(株)が創業、1919年日本鋼管(株)に合併、1999年エヌケーケーマテリアル(株)として分社、2003年現社名に変更

所在地：射水市庄西町2-9-38

資本金：4億5,000万円

事業内容：フェロクロムを主とした合金鉄、高純度金属クロムの製造・販売、有価金属の回収、プラスチック製品の製造・販売

従業員数：220名

売上高：149億円(2016年3月期予想)

事業所：東京事務所、
ニューヨーク事務所

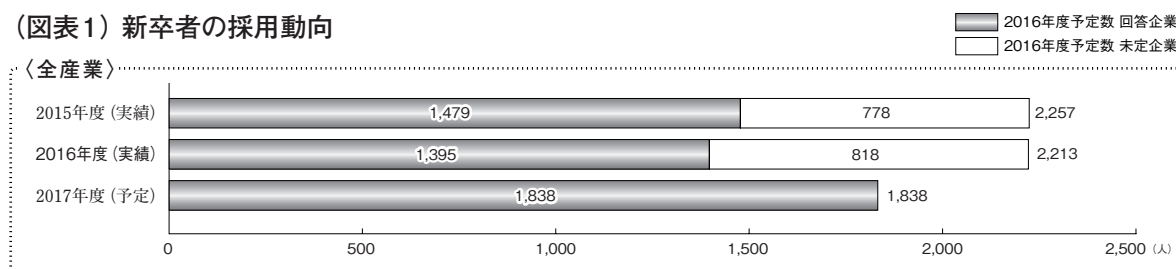
関連会社：(株)メタルテクノロジー

U R L：http://jfe-material.jp

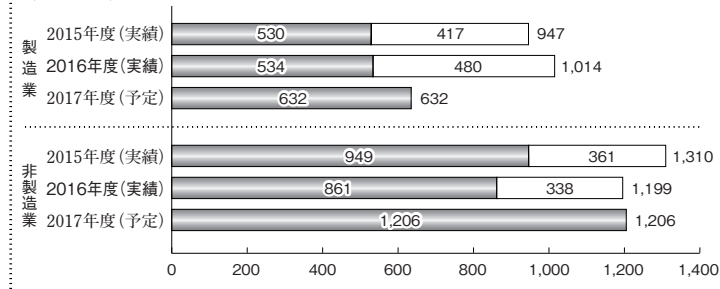
2016年4月新卒者等の採用に関する調査結果

前年比1.9%減少、
製造業は7.1%増、非製造業8.5%の減
2017年4月採用は大きく増加の予定

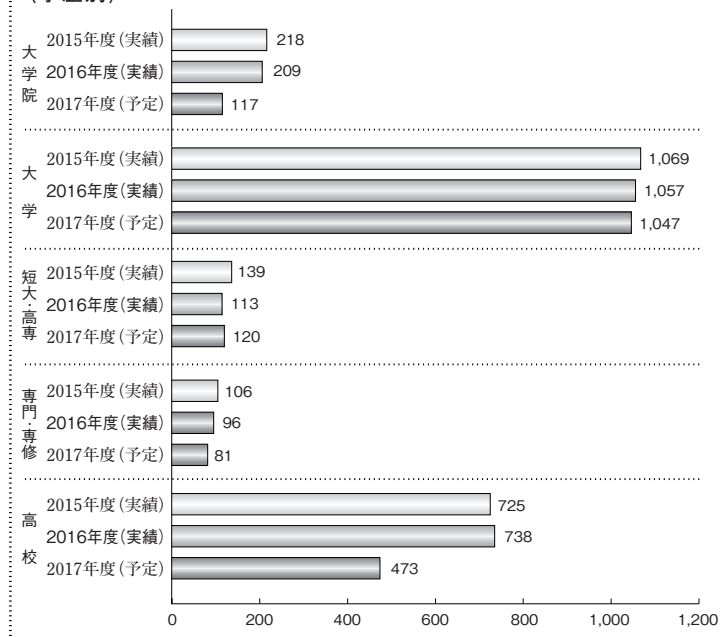
(図表1) 新卒者の採用動向



(産業別)



(学歴別)



※ 2015年度及び2016年度実績には2017年度採用未定企業の数が含まれている。

(表2) 2017年度業種別採用予定状況

産業区分	回答企業数(社) (うち未定)	採用予定人数(人)
食料品・飲料	4 (3)	4
繊維	4 (1)	11
木材・パルプ・紙	8 (5)	15
印刷	6 (3)	19
化学	29 (13)	96
プラスチック・ゴム	10 (2)	71
鉄鋼・非鉄金属	6 (4)	35
金属製品	19 (6)	67
汎用・生産機械器具	23 (12)	189
電子・電気機械器具	14 (5)	107
輸送用機械器具	7 (5)	8
その他製造業	2 (0)	10
製造業計	132 (59)	632
建設	24 (3)	154
電気・ガス	2 (1)	8
情報通信	14 (4)	191
運輸	18 (8)	138
卸・小売	40 (10)	269
金融・保険	7 (1)	315
宿泊・飲食・生活関連	7 (3)	18
学術・専門・技術サービス	9 (3)	25
教育・医療・福祉	8 (3)	25
サービス・その他非製造業	9 (2)	63
非製造業計	138 (38)	1,206
全産業計	270 (97)	1,838

当協会では標記調査結果をまとめた。2016年4月（'16/4）新卒者の採用実績は、全産業では前年比1.9%の減少となった。産業別の内訳は、製造業が7.1%の増加が見られる一方で、非製造業は8.5%の減少となっている。

また、2017年4月（'17/4）の採用予定数は、具体的数値で回答があった企業でみると、全産業では'16/4の採用実績に対して31.8%の増加となり、産業別では、製造業が18.4%、非製造業が40.1%となっている。

〔調査対象企業等〕

回答は270社からいただいた（回収率57.8%）。内訳は製造業132社、非製造業138社である。

この調査は1995年より毎年行っているもので、今回は22回目となる。

1. 新卒者の採用状況

(1) 2016年4月採用実績

全産業・全学歴計でみると、2015年4月（'15/4）の2,257人に対して '16/4は2,213人で44人減少（▲1.9%）となった。

産業別でみると、製造業では '15/4の947人に対して '16/4が1,014人で67人増加（+7.1%）した。一方、非製造業では '15/4の1,310人に対して '16/4が1,199人で111人減少（▲8.5%）と、産業別で異なる結果となった。

次に、学歴別にみると高校卒が '15年の725人から '16年の738人（13人増、+1.8%）と増加した以外は、すべての学歴で減少している。減少数・減少率ともに最も多かったのは短大・高専卒で26人減少（139人から113人、▲18.7%）であった（図表1）

(2) 2017年4月採用予定

'17/4の採用予定数について、具体的数値で回答があった173社の合計は1,838人で、同じ173社の '16/4の採用実績1,395人に対して443人増（+31.8%）となっている。また、'17/4の採用予定者数を未定としている企業が97社（'16/4の採用実績818人）あり、これらの企業についても同様に増加が期待される。

産業別でみると、製造業では '17/4の採用予定者数について具体的数値で回答があった73社の合計は632人であり、同じ会社の '16/4の採用実績534人に対して98人増（+18.4%）となっている。業種別では「汎用・生

産機械器具製造業」（189人）と「電子・電気機械器具製造業」（107人）が多くなっている。

一方、非製造業では、'17/4の採用予定者数について具体的数値で回答があった100社の合計は1,206人であり、同じ会社の '16/4の採用実績861人に対して345人増（+40.1%）と大きく増加する見込みとなっている。業種別では「金融・保険業」（315人）、「卸・小売業」（269人）、「情報通信業」（191人）等が多くなっている。（図表1、表2）

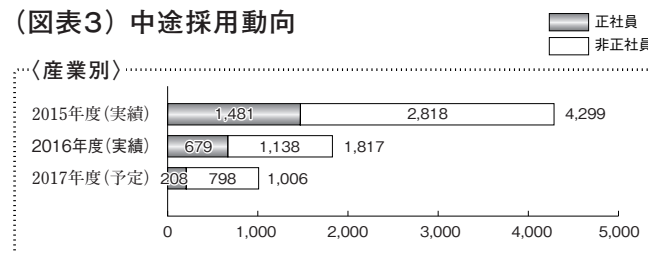
2. 中途採用の状況

'15年中（1～12月）に中途採用を行った企業は、270社中209社（77.4%）であった。'15年中の採用実績は4,299人となっている。

また、中途採用者のうち正社員として採用されているのは、4,299人中1,481人（34.4%）であった。

（図表3）

（図表3） 中途採用動向



事業活動報告

長野県経営者協会との合同協議会

3月17日(木)、長野県経営者協会と当協会との第3回の合同協議会を長野市で開催した。

富山経協は稲垣会長はじめ11名が参加し、マルコメ(株)を見学後、ホテル国際21で、山浦会長はじめ16名の長野経協役員と懇談した。

懇親会では、山浦、稲垣両会長が挨拶、市川長野経協副会長の音頭で乾杯し、親交を深めた。安部長野県知事からは、両県の交流が今後ともますます盛んになるよう努力していくと挨拶があった。金岡富山経協副会長が中締め挨拶をし、盛会のうちに散会した。



連合との懇談会

連合富山と富山県経営者協会との懇談会が3月4日(金)、ANAクラウンプラザホテル富山で開催された。当協会からは稲垣会長はじめ、武内、米屋、三鍋副会長、浅野人事・労務政策委員会副委員長、佐藤専務理事の6名が、連合富山からは尾谷会長はじめ10名が出席した。

はじめに尾谷連合富山会長から「政府は、アベノミクスの効果により景気回復が図られていると強調しているが、一時の円安・株高で潤ったのは一部企業や富裕層に限られ、多くの働く者にその効果が波及していない。4年続けて実質賃金はマイナスを続け、非正規労働者が雇用労働者の4割に達し、その内、年収200万円以下のいわゆるワーキングプアは1,100万人となるなど、状況はますます悪化している。また、消費税増税によって、持続可能な全世代支援型社会保障制度が確立されることを目指してきた社会保障と税の一体改革は進んでいない状態となっている。

私たち連合は、2016春季生活闘争で、4%程度の賃金引き上げとすべての働く者の処遇改善を図り、「底上げ・底支え」「格差是正」で「経済の好循環実現」を目指すとし、①賃金の引き上げと一時金の水準アップ、②非正規労働者の労働条件を改善、③ワーク・ライフ・バランスの実現、④最低賃金の引き上げ、⑤公正取引の実現の5項目について要請する」とした。



これを受けて、稲垣会長から「北陸新幹線の開通により富山の社会構造にも大きな変化がおきている。雇用情勢をみると、有効求人倍率が1.5倍と全国でも高位にあり、労働側にとっては追い風となっているが、使用者側にとっては労働力確保に厳しい現状となっている。基本的には、賃上げは個別の企業の実情によるが、付加価値の額が増えないと分配はできない。ものづくり企業では下請け・小規模企業は、企業同士の連携を強めていくなど新しい発想と努力が求められている。また人の問題でも、現場力・スキルを上げるための変革が必要である。より高度な人材確保のためには、複線型の人事評価制度の導入の検討も必要であり、各企業は一層の労働生産性を高める努力が必要である。そのための労使の協調は重要である」と挨拶した。

その後自由討論に入り、人口減少に伴う人手不足、人材確保等の県内雇用情勢、生産力の維持向上などについて幅広く意見交換を行った。

子育て支援・ 企業トップセミナー

「イクボスで、業績と笑顔がともにアップ」 ～新しい働き方、マネジメント、そして人生～

3月9日(水)、女性活躍推進の一環として富山県商工労働部との共催で「子育て支援・企業トップセミナー」を、会員企業の人事・労務担当役員・管理職等28名が参加して富山県民会館8階で開催した。

講師の三井物産ロジスティクス・パートナーズ㈱代表取締役社長で、NPO法人ファザーリング・ジャパン理事の川島高之氏は、「イクボスとは、部下の私生活



活・キャリア支援と自身のワーク・ライフ・バランスを保ち、組織目標の達成に努力する存在」と定義し、なぜ企業にとってイクボスが必要なのか、上司がイクボス



に変わることによって、その組織がどのように活性化し、どのようなメリット・成果が企業にもたらされるかなど具体的事例を示し、ワークショップを行った。

2016年 2月15日～4月11日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	2月19日(金)	富山商工会議所ビル	24名
	労働法関連法制研究部会(第4回)	人事・労務政策	2月23日(火)	富山経協・研修室A	10名
	環境委員会「定例委員会」	環 境	2月24日(水)	海洋深層水浄化加工センター㈱ウーケ	16名
	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	3月 2日(水)	日本曹達㈱ 高岡工場	23名
	連合富山役員と富山経協との懇談会		3月 4日(金)	ANAクラウンプラザホテル富山	6名
	幹事会		3月 4日(金)	富山電気ビル	60名
	理事会		3月 4日(金)	富山電気ビル	9名
	長野経協との合同協議会		3月17日(木)	長野県	11名
	経営企画・IT委員会「定例委員会」	経営企画・IT	4月 7日(木)	富山経協・研修室B	8名
講演会	情報セキュリティ基礎セミナー	経営企画・IT	2月26日(金)	富山経協・研修室A	16名
	子育て支援・企業トップセミナーワークショップ (共催:富山県)		3月 9日(水)	富山県民会館8階	28名
講 座 ・ セ ミ ナ ー	第2回係長・主任実践コース	教 育	2月18日(木)	富山経協・研修室A	28名
	品質管理入門講座<応用編>	品質管理	2月16日(火)・17日(水)	富山経協・研修室A	28名
	管理職マネジメント研修	教 育	2月19日(金)～20日(土) 3月17日(木) 4月14日(木)	富山県農業総合研修所	26名
	労働法実務講座(第4回)	人事・労務政策	2月23日(火)	富山商工会議所ビル	32名
	C S顧客満足基礎セミナー	教 育	2月24日(水)	富山経協・研修室A	21名
	改善レベルアップセミナー(応用編)	教 育	3月10日(木)	富山経協・研修室A	30名
	購買管理実践セミナー	教 育	3月11日(金)	富山商工会議所ビル	28名
	新入社員合同研修	教 育	4月 4日(月)	富山国際会議場	162名

委員会活動

人事・労務政策委員会

■定例委員会

2月19日(金)、布目・高田両副委員長はじめ委員24名が出席し、富山商工会議所ビルで開催した。

(一財)北陸産業活性化センター専務理事 堂谷芳範氏が「北陸地域における中小企業の雇用に関する調査及び研究」と題して講演し

た。続いて大学等のキャリア・就職担当者11名が加わって連絡協議会を開催した。学校側から①企業と情報交換する機会を定期的に設けてほしい。②学生が県内企業を知る仕掛けを今以上に設けたいなどの要望があり、「幹事会」で協議の上取りまとめ、委員各位に諮



ることとした。

品質管理委員会

■定例委員会

3月2日(水)、福村委員長はじめ委員23名が出席し、日本曹達(株)高岡工場で開催した。

定例委員会に先立ち、委員企業見学会を開催し、塩の電解施設と検査分析施設を見学した。

定例委員会では、新委員の紹介を行った後、事務局より2016年度

年間事業活動計画について説明した。委員企業見学会の見学先については4月の幹事会で、県外企業見学研修会の見学先は関西方面を有力候補として委員長と調整の上決定することとした。また、2016年度の講座・セミナー担当委員について説明し、事務局より各委員に対して希望を取り調整すること



とした。

環境委員会

■定例委員会

2月24日(水)、矢野委員長はじめ委員16名が出席し、入善海洋深層水活用施設で開催した。

矢野委員長挨拶の後、委員会規則の改定案についての基本的な考え方と改定箇所を事務局が説明。

審議の結果、事務局案が承認され、4月1日より改定することとなった。

定例委員会終了後、県内企業見学研修会として「海洋深層水浄化加工センター」と「(株)ウーケ」を見学した。



経営企画・IT委員会

■2016年度第1回委員会

4月7日(木)、守山委員長はじめ委員8名が出席して富山経協・会議室で開催し、2016年度事業の進め方、委員会研究テーマについて審議を行った。

守山委員長より、今年度も理事会からの指示事項を受けて活動していく。具体的な活動テーマについて審議頂きたいと挨拶した。

事務局より2016年度の協会テーマは「労働力減少と働き方改革」となった。これを受け、当委員会の研究テーマを「労働生産性を高める働き方」としたい。総会並びに地区会員懇談会の講演会は「労働力減少」をテーマに企画する。3年目となる「現場力の向上」につながるオーダーメイド研修と改善活動企業見学会は本年度も継続実



施することを説明の後、審議を行い、事務局案で進めることを決定した。次回は8月4日に開催する。

講演会

■中小企業のための
情報セキュリティ基礎セミナー

2月26日(金)、16名が参加し富山経協・研修室Aで開催した。

ITコーディネータ富山会長の吉田誠氏は冒頭、企業における情報セキュリティ対策の実態を紹介した上で、情報セキュリティの基本的な考え方や日常業務に潜む情報漏えいリスク、コンピュータを

利用する際の脅威とその対策、企業に求められている情報セキュリティ対策などについて、新たに始まったマイナンバーへの対応も含めて解説した。また、チェックシートを用いて自社のセキュリティレベルを確認し、現状に応じたセキュリティ対策の進め方について検討した。独立行政法人情報処理推進機構が作成したドラマ形式の



解説を、YouTubeでいつも試聴できることを紹介した。

■第2回係長・主任実践コース

2月16・17日(火・水)、28名が参加して、富山経協・研修室Aで開催した。

講師の佐藤充昶(たかてる)ヒューマン・クリエイト代表より、今日の企業環境変化と係長主任の役割について講義が行われ、グループワークで活発に意見交換した。

講義の中で佐藤講師は、①目標を達成するためには、資源を効果

的・効率的に活用する。②企業利益を生むためには、顧客満足やサービスの向上、品質管理を徹底することで顧客がついてくる。③問題・課題解決や改善活動が活発に行われる職場の風土づくりが一層重要である。④人の扱い方については、外部要因と個人の価値観・資質・性格・過去の経験などの要因が複雑にからみ合うので、個別の対応が必要である。⑤積極的傾



聴が大切で、部下指導・コーチングの際には、部下自身の考える力を養うことが必要であるとした。



参加者NOTES

ダイヤモンドエンジニアリング株式会社
電気設計部

野中 正志



係長・主任としての基本的な知識、技法、態度を修得し、職場の役割や、仕事の改善の取り組みや、目標の管理、部下の指導・育成などについて学びました。

組織が目標達成のために重要なことは「マーケティング」と「イノベーション」であり、ニーズとウォンツを満たすことと、より良いサービス(満足感)と商品を提供することです。係長・主任は「監督者層」と位置づけられ、経営者層と管理者層の方針を受けて、第一線の人々の仕事を円滑に遂行させることが求められています。

目標の達成には周到な計画を立て、正確な指示を与え、たえず仕

事の進行状況に気を配り、状況の変化に応じて適切な処置をとっていく必要があります。

管理の5機能として計画、組織化、指令、統制、調整に分けられ、これらの機能は周期的なサイクルをなしています。

部下の育成方法としては、個人の価値観、資質、性格、過去の経験などが複雑に絡み合うので個別の対応が必要です。育成の主役はあくまでも部下であり、自分で考え・工夫し、やってみることで、自ら学び成長します。教えるよりも学ばせる姿勢が大切です。

OJTの施策として、個人指導、

仕事の仕組みづくり、職場の風土づくり、部下の意見を聞くこととありました。

いくつかの事例についてグループに分かれて演習を行い、いろいろな意見交換を行い、他のグループの方の討議内容を聞いたり、グループ内での内容を発表して、人それぞれとらえ方が違うことを感じました。

講義内容やグループ演習のどの項目においても、日頃からのコミュニケーションが大切であることを感じました。

最後に講師の方が「三流の人は与えられた問題を解決できる人、二流の人は問題を発見し解決する人、一流の人はあるべきを描き実現する人」とおっしゃっていたので、一流の人になれるように、意識していきたいと思います。

階層別教育

■新入社員合同研修

4月4日(月)、2016年度新入社員合同研修を、47社から162名の新入社員が参加して、富山国際会議場で開催した。

「社会人としての基本と企業人としての心構え」を学ぶことを狙いに、(公財)日本生産性本部経営コンサルタント筒井健太氏、(株)コトノハ代表廣川奈美子氏、島崎社会保険労務士事務所所長の島崎裕美子氏、そして当協会の稲垣晴彦会長の4氏が講義・講話した。



第1部 学生から社会人へ・職場のコミュニケーション・指示命令の受け方と報告の仕方

筒井講師が、学校生活と職場生活の違いを正しく理解することや、組織人として新たな環境での態度や行動について説明した。仕事に取り組む意識として、組織の目的と社会的責任を認識しなければならないとし、顧客意識、品質意識など5つの意識と、整理、整頓など安全の4Sを常に意識しなければいけないとした。次にコミュニケーションを行う際の心構え、上手なコミュニケーションのための基本、報告・連絡・相談の大切さと、指示命令の受け方として、呼ばれたらメモを取る、復唱するなどの具体的な心構えを指導した。

第2部 社会人としてのマナー・職場のマナー

廣川講師が社会人として必要なマナーについて、第一印象の大切さ、身だしなみのポイントや挨拶の仕方などを講義した後、セルフチェックリストによる自己診断や受講者同士での実技訓練などを行った。島崎講師は職場でのマナー＝ルールについて、会社のルールである服務規律を守ることの



大切さ、職場の風紀・秩序を乱す行為は慎むことなど、企業人として法律に基づき守らなければならない職場での基本について講義した。

第3部 講話

稲垣会長が「新入社員の皆さんに望む」と題して講演した。

人生の中で、仕事と生活を別々に分けるのではなく、ともに人生の大切な一部分と考える。社会人として仕事に携わるからには、仕事の意味、価値、本質を知ることが常に意識することを忘れず、どのような付加価値を生み出せるか常にしっかり考えられるようにしてほしい。

セレンディピティ、美しいものを美しいと認識できる能力を持ってほしい。幸せの青い鳥は遠くにいるのではない。皆さんの身近にいっぱいいる。仕事にこだわらず、書物やいろんな事象、いろんな人との出会い、いろんなものを見る中で人生の幸福を掴む意味でもこの能力は大事。

そして、真善美という言葉を大切にしてほしい。真理とは何か、善なる心とはどのような心か、美とはどのようなものなのか、この3つのことを常に心に留めてこれからの社会人生活を自分自身の力で素晴らしいものにしてほしい。

第4部 まとめ・レポート作成

筒井講師が研修を総括し、新入社員全員が後日、本研修で学んだ事柄を自社でフィードバックするため「実践活用シート」を作成し終了した。

■CS顧客満足基礎セミナー

2月24日(水)、21名が参加して富山経協・研修室Aで開催した。

講師の羽田野正博フォーワン代表取締役は、「安くて良いものを作れば売れる」というプロダクトアウトの発想を捨てて、あらゆる部門・業務プロセスを「顧客満足・顧客価値」の視点から見直すことが、従業員のモチベーション

を高め、企業が永続的に発展していくために必要不可欠であるとした。さらに、どうやって顧客の声に耳を傾ければ良いのか、ビジネスモデルをどのように捉えるのか、顧客価値を実現するために必要なことは何なのか、チームで価値観を共有して成果を上げるにはどうすれば良いのかなどについて、事例をもとにグループで検討した。



■改善レベルアップセミナー
(応用編)

3月10日(木)、30名が参加して富山経協・研修室Aで開催した。

この講座は、9月に開催した「改善セミナー基礎編～改善力養成講座～」に続く応用編で、改善活動を「指導・推進・牽引」するための具体的ノウハウについて検討し、改善活動の推進役・改善キスパートを育成し、改善活動のレベルアップを実現するために実施している。

日本HR協会KAIZEN事業部「創意とくふう」編集人 東澤文二講師は、手間をかけず、カネをかけず、知恵を出して「工夫」する改善が重要であり、改善のレベルアップのためには、「改善を積み重ねる連続改善」と「改善を組み合わせる複合改善」が有効であるとした。また、参加者が実際に企業の現場で抱えている問題・課題について具体的な改善事例に基づいて詳しいアドバイスが行われたほか、受講者が改善事例を書



出し、セミナー終了後に講師が取りまとめて後日、改善の定石集としてフィードバックした。

労 務 管 理

■労働法実務講座 (第4回)

2月23日(火)、「女性活躍推進法の概要と実務対応」をテーマに、32名が出席して富山商工会議所ビルで開催した。

第一芙蓉法律事務所の木下潮音弁護士は、「2015年8月に成立した女性活躍推進法は従業員数301人以上の企業に対して、2016年4月1日まで一般事業主行動計画を策定して都道府県労働局雇用均等室に届出を行う及びその計画を公表することを義務付けている(300

人以下の場合は努力義務)。この行動計画の策定届出公表に当たっては、まず、自社の女性活躍に関する状況把握と課題分析を行うことが必要。

女性活躍推進法は企業が自ら女性活躍の現状を把握して自主的に改善を図る計画を策定し、その計画の遂行状況を一般社会に公表するという、今までの労働関係法の取り組みとはまったく違う方法で女性活躍の実現を図るもの。女性活躍実現を図ることは数値目標だ



けにこだわるのではなく、男女を問わず従業員の働き方を見直して、ワーク・ライフ・バランスの取れた職場づくりにつながる」とした。

購買管理

■購買管理実践セミナー

3月11日(金)、28名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

「これからの購買実務の方向性とその展開」について、(公財)日本生産性本部 主席経営コンサルタントの藤本忠司氏は、購買部門の責任と役割は変化しており、経済環境が大きく変化して売上高を伸ばすことが難しくなる中で、単に物品の調達を行うだけの部門で

なく利益貢献部門となることが期待されているとした上で、調達改革を進める際には必ずトレードオフに直面することや、ビジネスパートナーとの関係見直しが必要になることなどを、具体的な成功事例・失敗事例を交えて解説した。

また、調達コストの削減が利益に与える影響を実際に計算するワークを行い、購買部門の役割の大きさを再認識し、物品の適正な市



場価格について検討することで自らの購買センスを確認した。

品質管理

■品質管理入門講座<応用編>

1月21日(木)～2月18日(木)までの4日間の日程で、28名が参加して富山経協・研修室Aで開催した。

この講座は、職場の改善活動を通して、仕事の「質」と「生産性」を高めるために、受講者全員が品質管理の基本に基づき、QC七つ

道具を利用しグループディスカッションを中心に模擬改善活動を行い、異業種交流ができる。

企業をあげての改善活動が根付くために、人材育成の重要性が一層要求されるようになってきており、認定試験に合格した受講生は、「品質管理初級」の資格を手に会社での活躍が期待される。



参加者NOTES

株式会社コージン 総務部総務課 **カ** **エイユ**
何 **穎瑜**



今回、上司からの勧めにより初めて品質管理に関する講座を受講致しました。弊社はプラスチックインサート成形品を製造、販売し、社内でQCサークル活動を実施していますが、改めて品質管理の全体像とQC手法やサークル活動の進め方を、より詳しく学び、理解を深めることができました。

講座は全部で4回あり、QCストーリーに沿って進められました。サークル活動を実施している時、どのグループでも苦勞しているテーマ選定と要因解析を重点的にグループディスカッション(GD)

し、発表や宿題から学び得るというものでした。私は中国出身ですが、とても分かりやすいプログラムになっており、講座で学んだことを弊社のサークルにも取り入れ、サークルメンバーからも頼られるようになりました。

講座はグループに分かれて実施されますが、医薬品関係やガラス関係等様々で、最初の課題説明は大変でしたが、同じグループの皆さんはとても話しやすく、各自の課題を解決するために各々が自分の経験を教えてくれたり、積極的

にアドバイスを出して討論したりしました。毎回斬新なアイデアを聞くことが出来たので、GDの時間はあっという間に過ぎ、とても楽しかったです。

4回の講座を2ヵ月かけて行い、毎回発表と宿題を与えられる研修なので、最初は重く感じるかもしれませんが、実際に参加してみると、内容はとても分かりやすく教えていただけますし、異業種の方と楽しくグループディスカッションも出来ました。本当に参加して良かったです。

今回の研修で学んだことを今後のQCサークル活動や日々の仕事に活かしたいと思っております。

新会員の紹介

(50音順)

■ 公益財団法人 オイスカ富山県支部

所在地 富山市下大久保2412-9
代表者 会長 新木 富士雄
設立 1975(昭和50)年7月
資本金 —
従業員 1名
事業内容 国際協力、環境保全活動等



■ 株式会社 ヒラ・テック

所在地 富山市中沖534
代表者 代表取締役 平山 喜将
設立 2007(平成19)年10月
資本金 500万円
従業員 20名
事業内容 ステンレスを中心とした機械板金の製作



■ 黒田化学株式会社

所在地 南砺市城端368番地
代表者 代表取締役社長 黒田 泰人
設立 1980(昭和55)年9月
資本金 4,000万円
従業員 260名
事業内容 プラスチック製品の設計・製造



■ 北銀リース株式会社

所在地 富山市荒町2-21
代表者 代表取締役社長 三ツ塚 哲二
設立 1983(昭和58)年7月
資本金 1億円
従業員 16名
事業内容 各種動産リース・割賦、資金回収代行業務

■ シーケー金属株式会社

所在地 高岡市守護町2-12-1
代表者 代表取締役社長 釣谷 宏行
設立 1936(昭和11)年9月
資本金 1億7,669万円
従業員 70名
事業内容 配管機器販売事業、溶融亜鉛めっき事業



■ 野村証券株式会社 富山支店

所在地 富山市堤町通り1-4-3
代表者 支店長 新里 正道
設立 1925(大正14)年12月
資本金 100億円
従業員 12,928名(県内80名)
事業内容 証券業を中心とする投資・金融サービス業



■ 株式会社 上智

所在地 砺波市千代176-1
代表者 代表取締役社長 楠 則夫
設立 1960(昭和35)年6月
資本金 8,400万円
従業員 83名
事業内容 建設コンサルタント、補償コンサルタント、測量調査業、システム開発販売業



■ 山辺事務機株式会社

所在地 高岡市蓮花寺191-14
代表者 代表取締役 山辺 雅英
設立 1977(昭和52)年4月
資本金 1,000万円
従業員 16名
事業内容 パソコン等のIT商材や複合機、ビジネス機器



■ 第一レンタル株式会社

所在地 南砺市高堀8番地
代表者 代表取締役 釋永 一男
設立 1983(昭和58)年11月
資本金 1億円
従業員 44名
事業内容 仮設ハウス、備品、OA機器、軽仮設材(足場)レンタル、中古家具販売(スチールオフィス家具他)



■ 吉沢運送株式会社

所在地 射水市小杉白石713番地
代表者 代表取締役 吉澤 清次
設立 1957(昭和32)年9月
資本金 3,500万円
従業員 45名
事業内容 運送事業、損害保険代理事業、自動車分解整備事業、産業廃棄物収集・運搬



■ 高岡ガス株式会社

所在地 高岡市内免2丁目1番43号
代表者 代表取締役社長 菅野 克志
設立 1914(大正3)年4月
資本金 1億7,000万円
従業員 32名
事業内容 都市ガス(天然ガス)の供給およびガス機器販売並びにガスに関する工事全般



会員の動き

(50音順)(敬称略)

■ 代表者の変更

共栄火災海上保険株式会社 北陸支店
支店長 江守 淳(前:寺門義昌)

コマツNTC株式会社
代表取締役社長 杉野 高広(前:桃井克志)

JFEマテリアル株式会社
代表取締役社長 西村 博文(前:鷺尾 勝)

塩谷建設株式会社
代表取締役社長 塩谷 洋平(前:塩谷雄一)

立山製紙株式会社
代表取締役社長 増田 基由(前:池田恒彦)

株式会社チューエツ
代表取締役社長 山影 有三(前:川上秀夫)

株式会社 東芝 北陸支社
支社長 木山 泰(前:國清敏之)

ナチ日本海ベアリング株式会社
代表取締役 広瀬 秀一(前:野尻忠茂)

株式会社ニュージャパントラベル
代表取締役社長 吉野 公人(前:松田 隆)

■ 社名の変更

株式会社 高岡金型センター
(旧:協同組合 高岡金型センター)

株式会社 北陸日立
(旧:株式会社 富山日立)

■ 所在地変更

株式会社 パソナ パソナ・富山
富山市宝町1-3-10 明治安田生命富山ビル8階



表紙の花 ミズバショウの花

(富山県中央植物園 中田政司)

白い花は「苞」

唱歌「夏の思い出」に唄われ、尾瀬の代名詞ともいえるミズバショウですが、平地の植物園では4月に花を咲かせ、うっかりすると見逃してしまうことがあります。

白く花のように見える部分は「仏炎苞(ぶつえんほう)」といって葉が変形したもので、仏像の背景にある炎形の飾りに見立てて名前が付けられました。カラーやアンズリウムなどのサトイモ科植物に共通する特徴です。本当の花は小さく、中央のトウモロコシのような棒状の部分に密集して付いています。花期の葉は展開したばかりで可憐ですが、やがて壮大に成長し、長さ80cmを越えて見る影もなくなります。

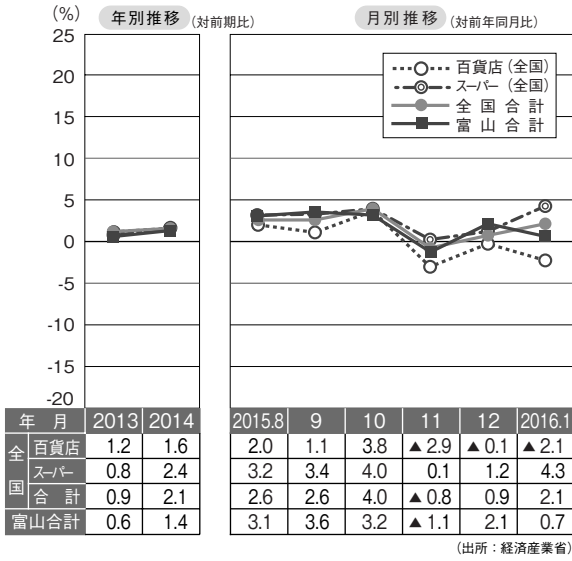
天然記念物のミズバショウ群落

ミズバショウは北方系の植物で、中部地方以北の日本海側と北海道、千島列島からカムチャツカ半島、シベリア東部に分布しています。富山県では山地帯から亜高山帯の湿地に点々と分布していますが、富山市(旧八尾町)小井波では標高470mという低地に群落がみられ、また南砺市縄ヶ池では標高830mの湿原に大群落がみられることから、それぞれ市、県の天然記念物に指定されています。

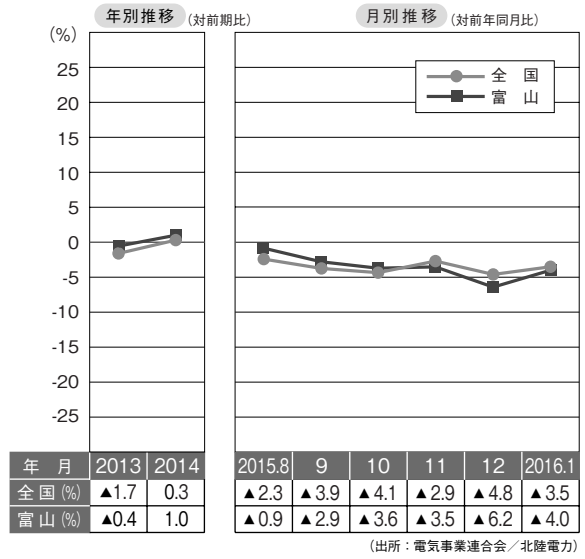
ミズバショウにはシュウ酸カルシウムやアルカロイドが含まれ有毒ですが、冬眠から覚めたクマはまずミズバショウの根茎を食べ、腸内に溜まった老廃物を排出すると言われていています。下剤として利用しているのでしょうか。

景況指標

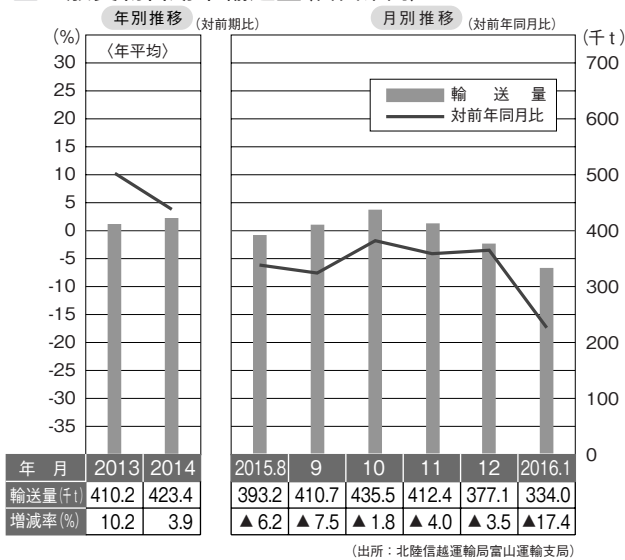
■百貨店・主要スーパーの売上高



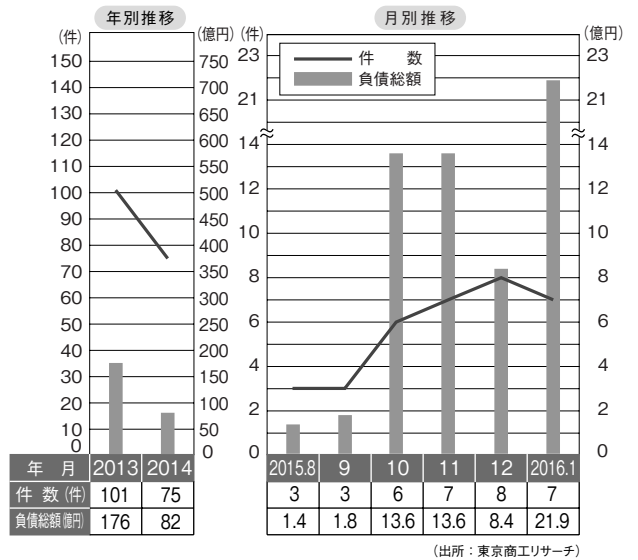
■大口電力消費量(製造業計)



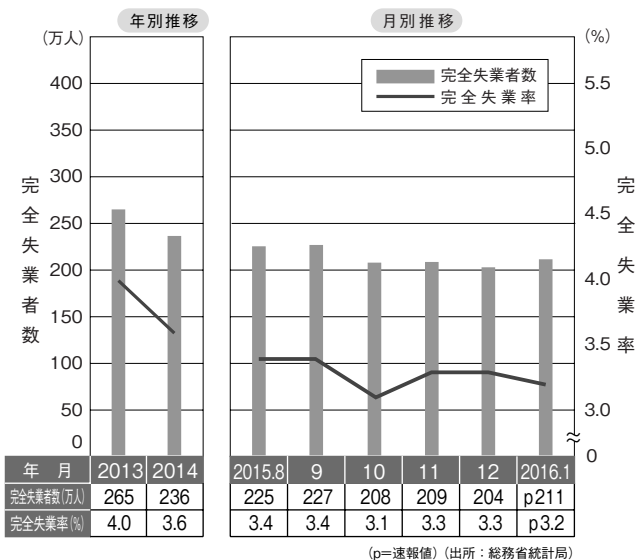
■一般貨物自動車輸送量(富山県内)



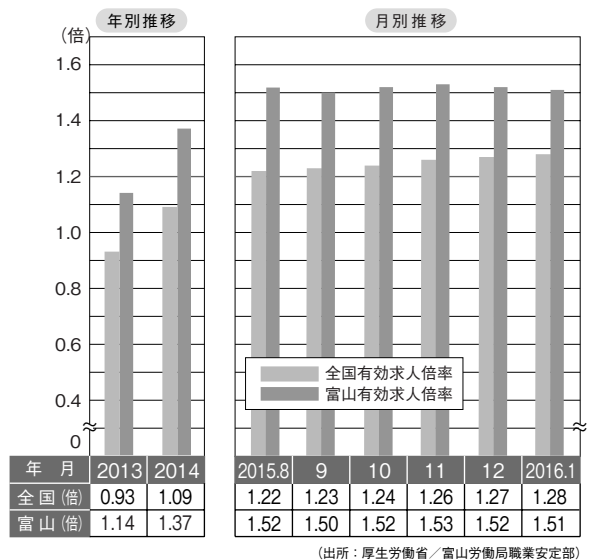
■企業倒産(富山県内)(件数と負債総額)



■完全失業者数及び完全失業率(季節調整値)



■有効求人倍率(パートを含む季節調整値)



5月23日(月) 一般社団法人 富山県経営者協会 第71回 定時総会

15:30～16:00 **定時総会** (富山国際会議場2階)

16:10～18:20 **講演会・座談会** (富山国際会議場3階メインホール)

『労働生産性を上げる働き方改革』(仮題)

16:10～17:10 **講演会**

講師：加藤 久和氏 (明治大学 政治経済学部 教授
日本創成会議 人口減少問題検討分科会 委員)

17:20～18:20 **座談会**

パネラー：加藤 久和氏 (明治大学 政治経済学部 教授)
尾谷 康弘氏 (日本労働組合総連合会 富山県連合会 会長)
稲垣 晴彦 当協会 会長 (北陸コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長)

18:30～19:40 **懇親会** (ANAクラウンプラザホテル富山3階「鳳」)

事業予定

2016年 4月15日～6月15日

詳しくはホームページ(<http://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所
会 議	4月15日(金)	15:30～17:00	品質管理委員会「幹事会」	品質管理	富山経協・研修室A
	4月21日(木)	17:00～18:00	理事会		富山経協・研修室A
	4月26日(火)	16:00～17:30	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	富山経協・研修室A
	5月23日(月)	15:30～19:40	定時総会・講演会・座談会・懇親会		富山国際会議場・ ANAクラウンプラザホテル富山
	5月27日(金)	15:30～17:30	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	富山経協・研修室A
	6月15日(水)	16:30～18:30	労働法関連法制研究部会(第1回)	人事・労務政策	富山経協・研修室A
講 座 ・ セ ミ ナ ー	4月19・20日(火・水)	9:30～16:30	営業力基礎セミナー	教 育	富山商工会議所ビル
	4月21日(木) 5月12・19日(木)	9:00～17:00	品質管理入門講座<基礎編>	品質管理	富山商工会議所ビル
	5月13～14日(金～土)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修	教 育	富山県農業総合研修所
	5月17日(火)	9:30～16:00	ビジネス・マナー習得セミナー	教 育	富山商工会議所ビル
	5月26日(木) 6月 9日(木)	9:00～17:00	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室A
	6月 7日(火)	9:30～16:30	IE手法による生産現場の改善セミナー	教 育	富山商工会議所ビル
	6月 8日(水)	9:00～17:00	ISO9001:2015年版改定まるわかり講座	品質管理	富山商工会議所ビル
	6月14日(火)	9:30～16:30	仕事の基本「報連相」セミナー	教 育	富山経協・研修室A
6月15日(水)	13:30～16:00	労働法実務講座<第1回>	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	

「富山経協」vol.825

2016年(平成28年)4月号
2016年4月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)
TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp